

授業コード： ce241016

授業科目名： 生体物性工学

履修者数： 28 名

担当教員名： 水谷 好成

回答者数： 27 名

学部：	医療福祉	<input type="text" value="0"/>	現代社会	<input type="text" value="0"/>	経営法／総合政策	<input type="text" value="0"/>	工／科学技術	<input type="text" value="27"/>
	無回答	<input type="text" value="1"/>						
学科専攻：	理学療法	<input type="text" value="0"/>	作業療法	<input type="text" value="0"/>	言語聴覚	<input type="text" value="0"/>	視覚機能	<input type="text" value="0"/>
	看護	<input type="text" value="0"/>	保健福祉	<input type="text" value="0"/>	現代社会	<input type="text" value="0"/>	経営法／総合政策	<input type="text" value="0"/>
	知能情報	<input type="text" value="0"/>	建築環境	<input type="text" value="0"/>	臨床工学	<input type="text" value="26"/>	無回答	<input type="text" value="1"/>
学年：	1年	<input type="text" value="0"/>	2年	<input type="text" value="0"/>	3年	<input type="text" value="27"/>	4年	<input type="text" value="0"/>
							無回答	<input type="text" value="1"/>

設問文	⑤	④	③	②	①	科目平均	大学平均	
設問文 ⑤ そうである ④ まあそうである ③ どちらともいえない ② あまりそうとはいえない ① そうとはいえない	5	4	3	2	1			
A：授業への取り組みについて								
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤ 0回 ④ 1～2回 ③ 3～4回 ② 5～6回 ① 7回以上	20	5	2	0	0	4.67	4.41	
問2. 授業の他に学習活動（予習・復習・課題・レポートなど）をしましたか	16	6	4	0	1	4.33	4.25	
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	14	8	4	0	0	4.38	4.29	
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	10	7	6	1	3	3.74	3.79	
B：授業内容・方法・成果について								
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにマークしてください（複数選択可）								
	対面	<input type="text" value="27"/>	遠隔(meet)	<input type="text" value="0"/>	遠隔(音声ファイル)	<input type="text" value="0"/>	遠隔(動画ファイル)	<input type="text" value="0"/>
	遠隔(チャット)	<input type="text" value="1"/>	遠隔(課題)	<input type="text" value="5"/>	遠隔(テスト)	<input type="text" value="0"/>	無回答	<input type="text" value="0"/>
問6. 授業は系統的に整理、準備されていますか	8	4	9	4	2	3.44	4.57	
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	6	6	5	4	6	3.07	4.37	
問8. 授業内容は質問しやすい環境でしたか	7	3	7	6	4	3.11	4.13	
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	8	7	8	3	1	3.67	4.41	
問10. シラバスまたは授業初めに掲示された到達目標は達成されましたか	9	7	6	4	1	3.70	4.40	
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	7	8	7	2	3	3.52	4.39	
C：授業の全般的印象								
問12. 教員の熱意を感じましたか	12	6	7	1	1	4.00	4.54	
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	8	7	8	3	1	3.67	4.47	
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	8	4	6	6	3	3.30	4.48	

学生へのメッセージ

授業中に何度も説明してきましたが、この授業は伝達された知識の記憶を主体とするのではなく、授業前の学習や経験を基に学習内容を本質的に理解しているかを授業内で確認して知識を再構築して、未知の課題を類推するスキルを身につけていくことを狙いとしています。授業前に予習（あるいは復習）することで「わかったつもり」になることは学習の妨げになります。事前に予習するのではなく、授業内において、自身がわかっていないことを認識して、授業内で考えて理解できるようになるような授業設計をしています。そのため、授業前に配布する資料は不完全版で、授業で参考にする最低限度の資料を当日の授業前に配布する方式にしています。このことは、授業内に何度か説明したつもりです。授業内に課題として示す動画は、集中して視聴しながら考えるためのものであり、授業後に再確認するような資料とは区別しています。授業形式に対して、「考えることを重要視した形態は良かった」という意見もいただいています。この授業で目指した「考える学習」の狙いを理解して、授業に臨んでいただきたいと思います。

事前配付した資料は意図的に不完全版としているため、授業で初めて示す資料はスクリーンを見ないとわかりません。そのことは、配布の際にも説明をしています。事前配布資料にない資料を説明している場合に、不完全版の配布資料だけをみている学生が多い場合は、スクリーンを見させる必要がありますので注意喚起をする必要があります。メモを取るタイミングは自由だと思いますが、スクリーンを使った説明を聴かなくてはわからない場合は、メモよりも聴くことが優先されます。残念ながら、全ての学生のタイミングに合わせて授業はできません。また、メモを取るための時間を確保することも難しいです。そのため、授業内で分らなかったことを振り返り課題で質問として書くように指示しています。説明が不十分でわからなかった学生が多いと判断した場合は次の授業やコメントで戻すようにしました。実習などでも、メモをとるための時間は十分に確保してくれるわけではなく、一言一句を書き取るのではなく、限られた時間で重要な要素のみを記録できるようになっていくことが求められます。

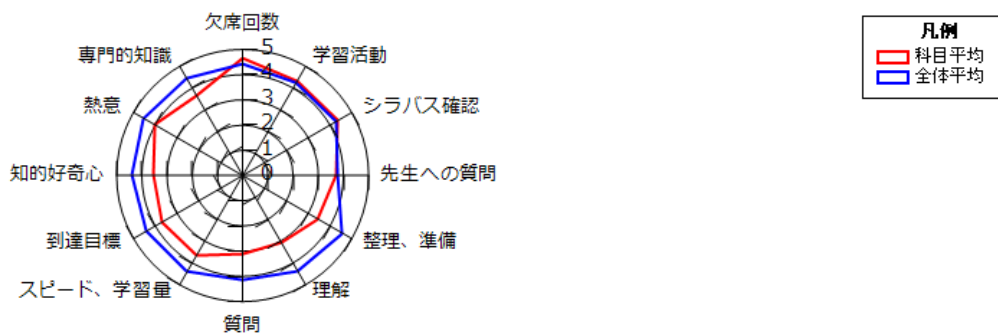
授業でも話しましたが、教科書の内容をそのまま暗記する学習はあまり意味がありません。教科書には全ての説明が書いてないので、補足スライド資料で追加説明しています。そのため、教科書通りに解答しても、追加説明した内容が不足していれば減点されます。減点された理由がわからないのは、本質的な理解が不十分であるためだと思います。減点された理由がわかるように学習するか、質問をしてもらえば、説明をします。

生体物性工学は、総合的な授業科目で扱わなくてはならない内容が多く、他の授業に比べて課題は多くならざるをえません。しかし、限られた授業数・授業時間で出せる課題数に限界がありますので、かなり擇って課題を与えています。他の授業による負荷があるという意見もいただきましたが、他の先生と同時に履修している授業とのバランスを相談・確認した結果、課題量が多いとは思われませんでした。むしろ、与えた課題は難しいものではありませんので、短時間で解答できるようになることが重要です。また、最終試験の設問を毎回の授業課題から出すことも説明していますので、試験と関連する課題を出している方が復習しやすいと考えられます。総合的な学習内容を扱い、幾つかの内容を融合させる方式で説明していますので、説明を一度読んだだけではわからない内容も少なからずあります。解答を覚える学習ではなく、内容を理解する学習は容易ではありませんので、何度も考えるという学習が必要になります。是非、学習内容をもう一度振り返って整理してみてください。

いただいた授業に対する要望の中で可能なことは組み入れて授業内容を調整しています。しかし、授業者と学習者では考え方が異なりますので、全ての要望を受け入れることは難しいです。テキスト事前配布や授業の進め方のような、この授業の狙いから外れる要望は授業改善につながりませんので、残念ながら組み込むことはできません。

この授業の進め方は、他の授業とは異なるところが多かったと思いますが、授業内容を再度振り返って学習した知識を整理してみてください。

レーダーチャート



総合評価

